

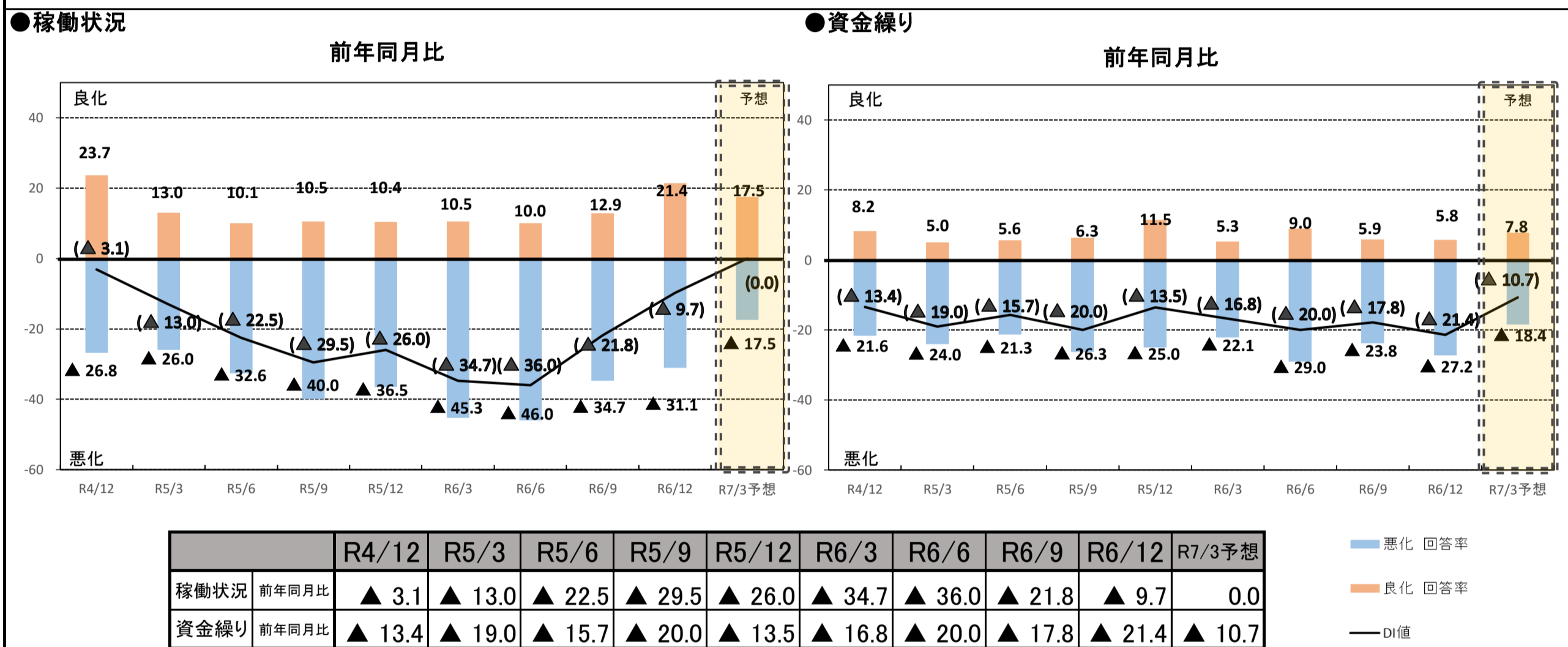
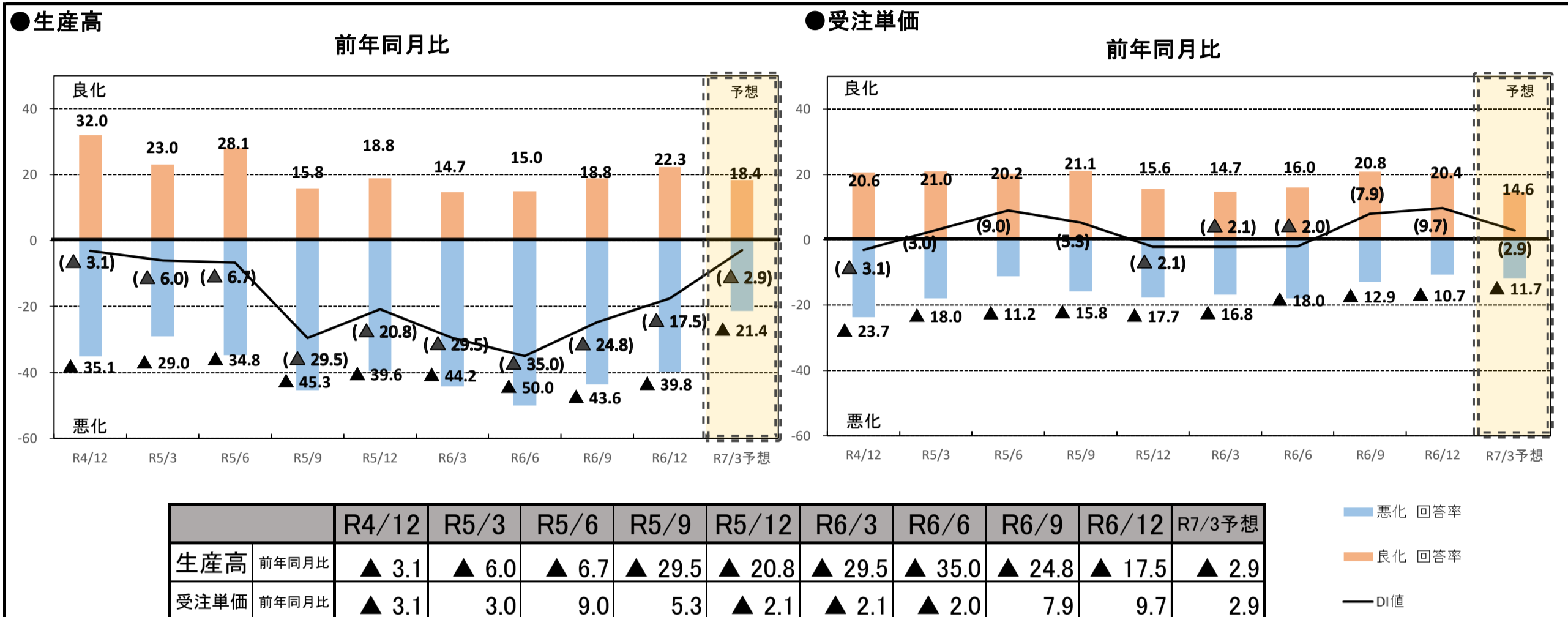
# 受注企業動向調査結果

-2024.12-

- 調査時点 令和6年12月調査(令和6年12月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 103社(回答率:68.67%)

＜業種内訳＞	
プラスチック	7社
鉄鋼・非鉄	8社
金属製品	24社
一般機械器具	24社
電気機器	20社
輸送用機器	5社
精密機器	9社
縫製	6社
計	103社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは▲17.5で、前回の▲24.8から7.3ポイント増となった。
- ・受注単価(前年同月比)DIは9.7で、前回の7.9から1.8ポイント増となった。
- ・稼働状況(前年同月比)DIは▲9.7で、前回の▲21.8から12.1ポイント増となった。
- ・資金繰り(前年同月比)DIは▲21.4で、前回の▲17.8から3.6ポイント減となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲2.9、受注単価は2.9、稼働状況が0.0、資金繰りは▲10.7という予想になった。
- ・その他自由意見として、

【一般機械器具】

- ・当初春先に回復するという説明を受けていた受注が戻らぬまま年を越えようとしている。事業継続のため、人員見直しや経費抑制をせざるを得ず、自主退職者も出はじめ、受注回復しても対応できなくなる。

【縫製】

- ・昨年から続く暖冬によりニットの生産が大幅に減少し、受注量も大幅に減少。仕入原材料の高騰により加工賃の値上げはできていないものの非常に厳しい状況。
- ・受注例年の80%。輸入品が98.5%を占めるため国内生産が厳しい状況にある。

【電気機器】

- ・国際情勢の不安定により景況の先行きが見えず、周りの製造業に未だ明るいさげは出ていない。
- ・当社の主要顧客である車載市場通信機器の需要が上昇傾向で、発注も上向き傾向にある。

【プラスチック】

- ・人材が足りない。

という意見が寄せられた。